

令和7年度、群馬県建設事業協同組合の総会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。令和6年度、「時間外労働の上限規制」が始まり、ホワイト産業を意識した働き方に向け、大きく動き出すことが出来た年でありました。今日の総会、全組合員に案内し、対面での総会開催となっています。改めまして、組合員の方はもちろんですが、群馬県知事さんを始めとして、組合に関係するご来賓をお迎えして開催できますこと、厚く御礼申し上げます。よろしくお願いいたします。

新年度早々、4月1日に組合の富田事務所で、恒例の事業協同組合の出発式並びに安全祈願祭も無事終了し、「今年度どんな小さな事故も起こさない」といった決意を確認し合って事業がスタートいたしました。第三者賠償保険制度など共同購買事業もありますが、何といたっても、群馬の組合事業の根幹となるのは環境部の仕事です。労務費の占める割合が多いといった特色がありますが、13年連続で「設計労務単価」が上がって来たことは組合事業を進めて行くために、背中を押す原動力となってきました。組合事業に直接携わる70名近くの人たちがモチベーションを高め、生き生きと働ける職場環境を作っていくことによって、組合員の皆さんにしっかりとした結果を出すことが出来るのだと思っています。

事業協同組合の特色は直接事業に参加できるところが大きな特徴であります。組合としてのメリットを生かしながら効率よい事業を展開していくことが大事です。全国に数多く建設関連の事業協同組合がありますが、ここ群馬の事業協同組合は他県の組合にとって先進事例として参考にする組合に成長しつつあります。組合としての組織を活性化させていくためには、少しずつ組織に変化を与えていくことが求められています。ホームページを立ち上げ、ほぼ毎日更新し、組合事業を幅広く理解してもらうことに役立っています。また発注者との協議会をはじめ組合の懇親会も開催することが出来ました。社会全体で「賃上げ」の動きが出てきていること受け、今年も組合としても正面から受け止めた対応をしていこうと思っています。

前に向かって変化していく建設業の取り組みを支えるのが事業協同組合の精神といえます。今年も建設業協会との関係をより強めていこうと思っています。会員が気持ちよく訪れることが出来るようにと心がけた建設会館の運営を行っていますが、富田地区の事務スペース改築のための環境整備も着実に進めているところです。今日の総会は事業報告、決算予算等です。7年目に入った建設会館の建設による瞬間的なリスクは順調に吸収されつつあります。組織全体として、事業の改善活動は日々積み上げ続けなければ結果は出てきません。今後発注者ならびに組合の役員、組合員のご指導・ご協力をさらに一層お願い申し上げ、挨拶に代える次第であります。

令和7年5月22日

群馬県建設事業協同組合
理事長 青柳剛